

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ラポール発達教室Advance		
○保護者評価実施期間	2025年11月6日		～ 2025年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年11月6日		～ 2025年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	2025年11月6日		～ 2026年2月16日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	12	(回答数)
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・弊事業所の関連の療育施設に通っているお子さんが多く、お子さんの特性なども把握しやすいため、療育において連携していくことができることが強みと思われる。	・必要に応じて担当の職員等も同行させ、集団の様子を踏まえた療育内容に活かしてより集団への還元を意識していけるようにしている。	・園、家庭、療育施設と一緒に対応していくことが大切と考え、できるだけ共有していき合わせて取り組みを進めていけるようにしたい。
2	・保護者への報告を文書を作成して丁寧に行っており、その際に話し合いもできており、定期的に利用されている方に対しては毎月の変化や療育と結び付けていく内容についても話し合い連携ができていないかと思われる。	・報告書については、文章でも様子が伝わるように、また、できるだけ客観的に行動について伝え、話し合いや見立て、今後行っていきたいことについて記載している。それをもとに保護者と療育や家庭で行う事について話をするように意識している。	・定期的に話をする方については継続していき、訪問回数が少ない方については、療育場面を通して様子をうかがうなどしながら、園や学校にとっても役立つような訪問にしていけるように考えていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問の時間が集団場面の様子を観察させていただくため、保育時間や授業時間が多く、また、希望者が多いため頻回に行けない事情もあり(園から回数を指定されている場合もある)、先生と直接話す時間があまり取れないことがある。また、少ない日数でどのようにしていくか、助言ができるか、ということが難しい場合もある。	・予約を取る時点で先生との話し合いの時間を依頼したり、保護者からの依頼を受けての時点で、まずは可能な訪問回数や目標についてきちんと整理していく必要があると感じている。	・予約時に先生との話し合いの時間の依頼も含めてお願いをしていくこと、保護者とも担任の先生とも目的や方針を共有していくことを今後心がけていきたい。
2	・療育が個別の形であると療育の場所での様子と集団での様子が違ったりすることがあり、集団の中での他児との関係性等での助言が難しいと感じる事がある。	・構造化されている場所では刺激が少なく集中できるということもあり、生活の場と異なる姿になることがあると思われる。集団の場での子どもの様子を見て、そこで現実的にどのように対応ができるかを瞬時に判断して提案できるようにしていくスキルが支援員に求められると思う。	・集団場面と療育場面を見ながら、実際の場面でのどのようなことができるより良いのか、先生方と協働して行えるようにしていきたい。また、集団の中で生活していくために必要なことを身に付けていく意識で療育に還元していけるように、療育施設にも依頼をしていきたい。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	ラポール発達教室Advance	公表日	R8年3月26日
		利用児童数	20
		回収数	19

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	11			8		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	16			3		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	18			1		
	4 R8年3月26日	19				・園から回数指定があった。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	18			1		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	15		1	3		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14			5	・基本的には専門的知識で観た様子を客観的にまとめて報告してもらっている。	
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18			1		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	17			2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	17	1		1		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	18	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18		1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	1			無回答 1	
	18 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	2			・コーラルなど、沢山利用させてもらっており、連携を取って悩みに対応してもらっている。	・系列の療育施設と連携できていることが強みであり、必要なことについて療育も行いながら支援ができるようにしていきたいと思います。
	19 こどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18		1		・意思疎通や情報伝達に、メールやLINEなど利用できると助かります。	・日程調整等に今後LINEの検討を考慮しております。
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	17	1		1			

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	17	1	1		
非常時等の対応	22	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15		1	3	
	23	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18			1	
	24	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	15			4	
満足度	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16			3	
	26	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	18		1		・利用回数や時間が場所になじめているのか？少し心配です。 ・小さいお子さんが多く、訪問では、お子さんは支援員を見つけると話しかけてくれたり見せてくれたりしてあまり嫌がっているお子さんはいないように思います。
	27	事業所の支援に満足していますか。	18	1			・とてもいい報告に驚き、とても感謝しております。対応も早く、助かりました。 ・保育園での様子が第三者目線で知ることができるので、大変満足している。 (また、困りごとに対しての助言もいただけるので)

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

R8年3月26日

ラポール発達教室Advance

利用施設数 12施設

回収数 11

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	10	1		・対象児の発達段階を踏まえて分かりやすく伝えていただきました。 ・いつも丁寧に話しくださり助かっています。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	11			・対象児の発達段階を踏まえて分かりやすく伝えていただきました。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	10	1		・保育中でお話しする時間が取れず、質問をしていません。 ・それぞれの立場で考えていけるので、良い機会になりました。	・訪問時間と保育時間が重なることが多く、状況によってお話の時間が取れなかったこともございます。今後は訪問の予約時にお話しする時間についても含めてご相談していきたいと思えます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	R8年3月26日	3		・最終的には保護者の方が判断されることなので、もどかしい思いはあります。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	9	2		・直接のやりとりができるのもっと良いです。	・保育中であり、担任の先生と直接ではなく園長先生等とのやりとりになったこともございます。今後は訪問の予約時にやりとりの時間を含めてご相談させていただきたいと思えます。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人の発達を多数の人が見守り、どうかかわるかに気づくことにより、よりよい発達に繋がってゆくと思う。保護者にとっても保育士にとっても、同じ方向性をもつ事が大切だと思う。保育所等訪問という制度はとてもよいと思う。 ・いつもお世話になりありがとうございます。課題や困りごとをお伝えすると、適時適切に助言いただけるので、職員も安心して保育にのぞむことができます。保護者へのフィードバックもありがたいです。引き続きよろしくお願ひ致します。 ・いつも丁寧に対応して下さいありがとうございます。 ・学校だけでなく、家庭や事業所での様子も共有して、今支援すべきことを一緒に検討していただけること、大変助かります。支援方法も効果的なことがあったら是非教えていただきたいです。 ・先生のご助言が大変分かりやすく、今後どのように支援していくか方針を立てることができました。衝動性のところは、本人の今後の課題だと思っています。学校でも協力できることがあればいつでもご連絡ください。 ・学校においては個々の能力を伸ばすだけでなく、集団での活動に参加することができるようになって欲しいと思ひ指導しています。集団参加、良好なコミュニケーションのための具体的な取り組みなどあれば教えてほしい。見学後に話し合いの時間が、もう少し取れるとよいと思う。 ・本児の遊びの充実の点で悩んでいたが、どんな視点で玩具を選ぶといいのか明確な視点（見てやり方がわかりやすいもの）を教えてもらえてありがたかった。すぐ取り入れたいと思う。 ・あくまでも保護者の方の要望を受けての訪問支援なので、今後園からの要望にも対応してくださるようになることに期待します。職員の相談、専門的な知識を教えていただきたい。 					<ul style="list-style-type: none"> ・集団中でのお子さんの様子からすぐに対応が難しい状況もあり、時間が必要なこともあり、毎回適切な助言ができないこともあります。系列の療育施設での療育があるため、連携をしながらお子さんの様子を分かり、助言ができること、集団の様子を見て療育に必要な内容を考え、療育施設に伝えて行っていることは弊事業所の強みと思っております。 ・保育所等訪問支援は、限られた日数や限られた時間の中での訪問であり、特に保育中授業中の観察や支援であることが多いため、先生とお話する時間を取ることが難しい場合があります。毎月や定期的な訪問の場合等は、お互いに時間を取ることに慣れてきて、自由遊びの中の隙間の時間であったり、授業中や休み時間の時間であることがありますが、お互いの信頼関係がないとなかなか話したり質問するまでに時間を要することもあるように感じています。事前の訪問予約時に担任の先生方とお話合いの時間をお願いするなど枠組みを確保して、直接やりとりをしながらお子さんの支援を考えていければと思っております。 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ラボール発達教室Advance
------	-----------------

公表日 R8年3月26日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1			
	5	R8年3月26日	1			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1			
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	1			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		1		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	1			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	1			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	1			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	1			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1			
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	1			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1			
非常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1			